

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		PAKARA KIDS		公表日		R8年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	室内のスペースについて、活動内容や子供の特性に応じて、工夫している	活動内容や利用児の特性に応じてスペースを工夫しているが、利用児の人数や活動内容によっては十分なスペースの確保が難しい場面もあるため、活動内容の工夫を継続していく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		利用児がより安心して過ごせる環境となるよう、環境設定や視覚支援などの工夫を引き続き行っていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		利用児がより安心して過ごせる環境となるよう、環境設定や視覚支援などの工夫を引き続き行っていく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて、パーティションなど囲うなどの対応を行っている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			職員間での振り返りや共有を継続しながら、支援の質の向上につながるよう取り組みをすすめていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		会議もしくは面談にて改善に取り組んでいる		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		町の研修支援を使って講師を呼んだり、外部の研修の受講を促している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		今年度より支援プログラムをHPに掲載している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		日々の支援や保護者の方、相談支援員等の情報など含めてニーズや課題を分析し、計画作成を行っている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		日々の支援記録やアセスメントを活用しながら、より適切な支援につながるよう情報共有を充実させていく	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域を支援内容に入れ、計画を作成している 家族支援、移行支援などは家族の意向や年齢などに合わせて設定している	5領域を踏まえた支援内容の充実と、保護者や関係機関との連携をさらに深めていく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員間ミーティングを行い、活動内容の検討や共有を行っている	職員間での意見交換や振り返りを行いながら、活動プログラムの充実を図っていく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節感のある活動を取り入れたり、セラピー内容を変更したり、固定化しないよう行っている	子供の興味や発達段階にあわせた活動を行っている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動・集団活動を組み合わせながら行っている	子供の状況に応じてより柔軟な活動を設定している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝ミーティングを行っている	支援内容について、より具体的に共有できるようにしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7		記録を取っており気づいた点は共有している	支援の振り返りは行っているが、気づいた点をより積極的に共有し、次に支援に活かしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録を取っており気になった点は共有している	支援の振り返りや改善につながるよう職員間での共有をさらにしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年の1回モニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			関係機関との連携は行っているが、必要に応じて情報共有の機会を増やしていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		移行支援会議に参加している	移行支援について、関係機関との連携を行いながら子供や保護者が安心して移行できるようにしていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		中核機能の事業所と連携をとっていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳にて伝えたり、送迎時に伝えていく	子供の状況や課題についてより丁寧に共有を行っていく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		今年度は保護者座談会を開催したり、他事業所の研修などのお知らせを行った	保護者が参加しやすい形を検討しながら今後も取り組んでいく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			運営規定や利用負担等について説明は行っているが、引き続き丁寧な説明を努めていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			保護者の意向を確認しているが、子供の最善の利益を踏まえながら支援内容を検討していく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて行っている	相談しやすい環境づくりを継続していく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	今年度は保護者座談会を開催した	来年度も開催出来るように考えている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談があった場合は迅速に対応し、内容を記録し職員間で共有している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		月1回でお便りを発行したりインスタグラムで日々の様子を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			職員間で意識を高めながら取り扱いに注意していく
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		子供の理解に応じて、絵カードなどを活用し、意思の疎通が図れるようにしている	子供の状況に応じた意思の疎通や情報伝達が行えるよう、今後も支援方法を工夫していく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		会社グループ全体で開催している	来年度も開催を予定している
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		保護者が確認できるように掲示している	非常時に備えた訓練や確認を継続していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		委員会の開催・訓練等実施している	非常時を想定した訓練や確認を継続していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時、保護者に確認をしている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時、保護者に確認をしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			安全計画に基づき対応しているが、非常時に備えた訓練や確認を今後も継続していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		保護者が確認できるように掲示している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		書面を残し、検討会を行っている	ヒヤリハットが起こった場合については共有しているが、再発防止につながるよう職員間での振り返りを行っていく
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		委員会の設置、研修を行っている	虐待防止への意識を高めるため継続して取り組んでいく	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束は原則行いこととしているが、やむを得ず必要な場合には委員会等で検討し、保護者の同意を得たうえで対応するようにしている	身体拘束は原則行わないことを基本とし、今後も職員間で確認を行いながら適切な対応に努めていく	